

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公表番号】特表 2002-521490 (P2002-521490A)

【公表日】平成 14 年 7 月 16 日 (2002.7.16)

【出願番号】特願 2000-562395 (P2000-562395)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/16 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 7/06 Z N A

A 6 1 K 9/02

A 6 1 P 31/18

C 0 7 K 14/16

C 1 2 Q 1/02

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 24 日 (2006.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】 個体における免疫応答の顕現方法に使用される治療剤の製造のための、請求項 1 ~ 16 いずれか 1 つに記載のペプチドの使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 18】 筋内、腹腔内、経口、経鼻および経皮からなる群より選ばれる投与経路により個体にペプチドを導入する請求項 17 記載の使用。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】 粘膜細胞への HIV の侵入の妨害方法に使用される治療剤の製造のための、請求項 12 ~ 16 いずれか 1 つに記載のペプチドおよび担体または基剤を含んだ薬物の使用。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】 担体または基剤が、フォーム、ゲル、薬物を保持するのに十分に粘性のその他の物質、水および緩衝液からなる群より選ばれるものである請求項 1 9 記載の使用。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】 担体または基剤が膣坐剤または直腸坐剤である請求項 1 9 または請求項 2 0 記載の使用。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】 ペプチドが膣、口または直腸に投与もしくは適用された直後または投与もしくは適用された後すぐに、該ペプチドが担体または基剤から放出される、請求項 1 9 ~ 2 1 いずれか 1 つに記載の使用。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】 ペプチドが膣、口または直腸に投与もしくは適用された後に徐々に、または投与もしくは適用された後、特定の期間の後に、該ペプチドが担体または基剤から放出される、請求項 1 9 ~ 2 1 いずれか 1 つに記載の使用。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】 薬物を、使用の条件下に該薬物の放出が可能となるような様式で避妊具の表面上に存在させるか、または避妊具内に組み込む、請求項 1 9 記載の使用。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 5】 薬物が g p 4 1 の立体配座変化を防ぎまたは減少させ、それにより、粘膜表面の細胞への H I V の侵入を妨げる、請求項 1 9 ~ 2 4 いずれか 1 つに記載の使用。